

## 2020年8～9月の長野県大町市硫黄沢における突発的な噴気活動

及川 輝樹<sup>1)</sup>・中野 俊<sup>1)</sup>

北アルプス(飛騨山脈)の非火山地域である硫黄沢で、火山噴煙に匹敵するような規模の噴気活動が複数回発生した。その様子を口絵で紹介する。この活動の詳細は、本号中の記事「火山噴煙に匹敵する噴気活動」に記されているので、そちらも合わせてご覧いただきたい。



口絵1 硫黄沢から立ち昇る火山噴煙状の噴気(8月31日7:35)。燕山荘から河地清人氏撮影。



口絵2 槍ヶ岳より高く上がる噴気(8月31日7時過ぎ)。三俣山荘から伊藤弘也氏撮影。

1) 産総研 地質調査総合センター 活断層・火山研究部門



口絵 3

上：9月4日 9:44 頃の硫黄沢・硫黄東沢全景（北方上空から長野県警察撮影）。硫黄沢の噴気孔 A からは噴気は上がっていない。

下：9月9日 12:23 頃の硫黄沢・硫黄東沢全景（北北東上空から国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所撮影）。硫黄沢の噴気孔 A から噴気が上昇している。



口絵 4 南方上空からの噴気孔 A (9月9日 12:23 頃)。南方上空から北陸地方整備局松本砂防事務所撮影。